

The University of Tokyo Foundation
Annual Report 2016

東京大学基金
2016年度活動報告書



時代の要請に応える — 東京大学ビジョン2020

東京大学が、国立大学法人制度に移行して14年目になります。この間、グローバル化が加速し、地球規模で取り組むべき課題が顕在化してまいりました。東京大学は、これらに対処する新たな知の創造とそれを担う人材を育成し人類社会に貢献するため、知の探求を知の活用へとつなげる「知の協創の世界拠点」を創ります。

我が国の財政状況が厳しい中で「知の協創」の場を創るには、戦略的に経営を強化し、基盤的教育、研究経費を全学で支え、財務運営を盤石なものとする必要があります。大学の総力を結集して大きな改革を進めるため、皆様には、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京大学総長 **五神 真**

2016年度報告 (2016年4月～2017年3月)

東京大学基金 申込総額は28.4億円

東京大学基金2016年度の寄附金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額28億円に達しました。東京大学基金に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様のご寄附は東京大学基金運営委員会のもと「東京大学基金」を柱として積立て、運用原資として活用させていただくとともに、寄附の目的に沿ってそれぞれの事業の支援に充てております。

寄附申込総額*	9,932件	2,842,706,530円
うち法人	341件	2,020,280,168円
うち個人	9,591件	822,426,362円

※寄附申込書に記載された金額

申込総額の内訳

目的を指定しない寄附	4.2億円	●「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用
目的指定の寄附	24.2億円	<p>● 主なプロジェクト (金額は概算)</p> <p>〈キャンパス環境整備〉1.4億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新図書館の建設 (新図書館計画「アカデミック・コモンズ」) ● 小石川植物園温室改築 (Life in Green プロジェクト) ● 東大病院メディカルタウン基金 他 <p>〈奨学金等〉7.3億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● さつき会奨学金基金 ● Go Global奨学金 ● 留学生支援基金 ● グローバルリーダー育成プログラム ● 東大生海外体験プロジェクト ● PEAK奨学金 ● リーダー博士人材育成基金 ● 長島雅則奨学金 ● 東京大学トヨタ高度人工知能人材育成のための海外留学奨学金 ● 東京大学トヨタ・ドワンゴ高度人工知能人材奨学金 他 <p>〈教育・研究支援〉14.5億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カブリ数物連携宇宙研究機構支援 ● 史料編纂所支援 ● 理学系研究科支援 ● 数理科学研究科支援 ● 医科学研究所支援 ● 公共政策大学院支援 ● KAGRAプロジェクト支援 ● マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト (三崎臨海実験所) 支援 ● トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ活動支援 ● プリンストン大学との戦略的提携支援 ● 修学支援事業支援 ● LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative ● ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校 日本研究拠点プログラム ● ブラチナ社会総括寄付講座 ● 太陽光を基軸とした持続可能グローバルエネルギーシステム総括寄付講座 ● スルタン・カブス中東研究寄付講座 ● 資本市場と公共政策寄付講座 ● 金融機関のリスクマネジメント寄付講座 他 <p>〈その他〉1億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ振興基金 ● 東日本大震災救援復興支援 他



より自立的な経営基盤へ

東京大学は、2004年の法人化を契機に、戦略的に研究・教育活動等を推進するための運用資金として「東京大学基金」を設立いたしました。この間、多くの企業および個人の方々からご寄附を賜り、本学の研究・教育・社会連携やキャンパス整備等に充てるとともに、期末残高100億円規模の基金にまで成長いたしました。皆様のご理解、ご支援に心より感謝申し上げます。今後も資産の積極的な獲得と活用を加速することにより、より自立的な経営基盤を構築し、世界の公共財として新たな経済・社会への転換を駆動することに努めていく所存です。今後とも一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

東京大学理事・副学長 **松木 則夫**

東京大学基金期末残高の状況

東京大学基金	11,152,220,910円
うち非目的指定寄附基金	8,695,307,418円

(参考) 東京大学支援のため設けられているその他の基金

信託基金(米国)	5,000,000米ドル
カブリIPMU基金	12,500,000米ドル
スルタン・カブース 中東研究寄付講座用基金	2,500,000オマーンリヤル (1オマーンリヤル=約289円 2017.3.31現在)

◎協定等により寄附者が基金を設置し、自ら運用を行い、その運用益を定期的に東京大学基金にご寄附いただくものです。

東京大学基金の運用状況

東京大学基金による運用益 [※]	94百万円
---------------------------	-------

※東京大学基金の運用について

2016年度東京大学基金の平均残高は約110億円でした。東京大学基金残高のうち21億円に関しましては、2008年度から信託勘定を設定し独自の運用をおこなっています。残りの基金は大学全体の余裕資金との合同運用による長期運用をおこない、基金分は別管理をしております。運用は国債、地方債を中心に、ユーロ円債などを加えた国立大学法人の運用規制の範囲内で行っています。2016年度は信託勘定分21億円の利回りが1.00%、またそれ以外の89億円に関しましては利回り0.82%となり、全体の運用益は約94百万円となりました。今後も皆様からのご寄附を安全かつより有利に運用するよう努力してまいります。

東京大学基金の活用状況

東京大学基金の運用益	東京大学基金は上記のとおり適切に運用管理され、生じた利息については、以下の用途に使用されています。 ①奨学制度の充実 ②研究者支援 ③キャンパス環境の整備
目的指定寄附基金	目的指定の寄附につきましては、該当プロジェクトの活動資金として活用しています。プロジェクトの特性により、進行に合わせ計画的に使用するものや、一定金額に達するまで留保しているものなどがあります。
非目的指定寄附基金	これまで「東京大学基金」のコアとして積立、運用原資として活用してまいりましたが、2015年度よりその一部を大学の重要な事業に充て、寄附者の皆様にその成果をお示しできるよう活用していきます。*

※東京大学基金の活用について

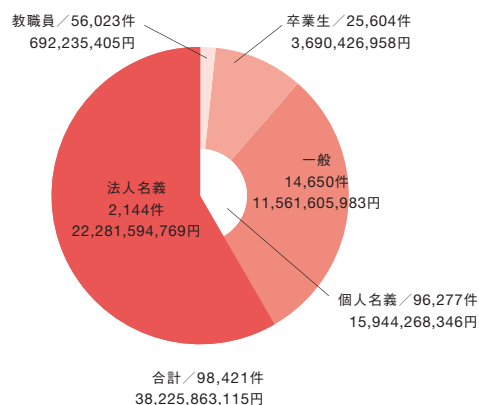
東京大学基金は、基金を積み上げ、その運用益を従来活用してきましたが、基金の更なる充実を図るには、基金本体を活用し、その成果を寄附者のご期待に目に見える形で応えていく必要があると考えています。この考えのもとに、2015年度は、基金運営委員会の決定のもと、初の基金活用事例として、前年度非目的指定寄附基金受入額の2分の1に相当する3億円を安田講堂改修に充当いたしました。なお、2016年度から入金額での金額を記載しております。今後も、更なる基金の充実を目指すために、寄附者の方々のご期待に応える活用方法の検討を進めてまいります。

数字で見る寄附の実績 (2017年3月31日現在)

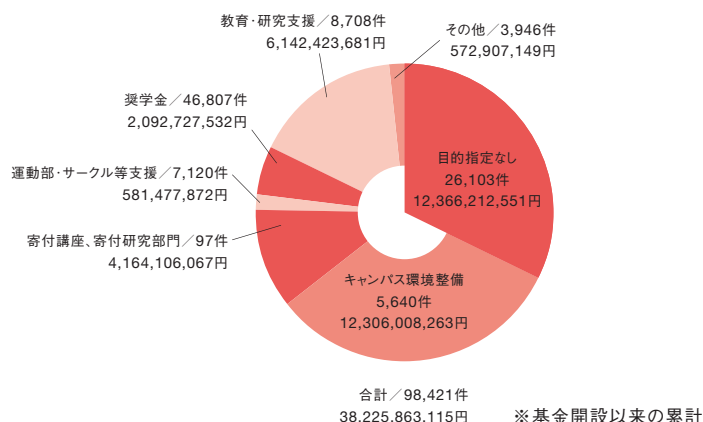
東京大学基金を設置してからの寄附実績(累計)は以下のとおりです。

※円グラフの割合は金額ベースです。

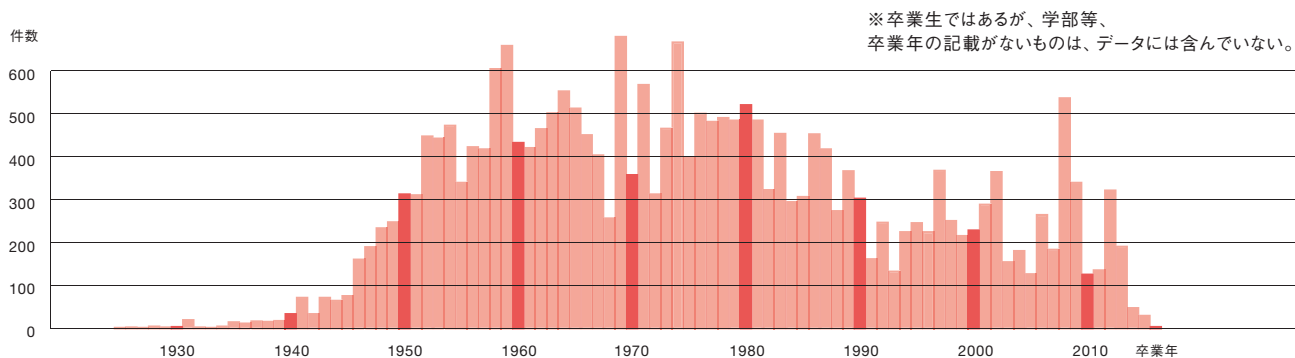
寄附者の内訳



寄附目的の内訳



卒業生寄附の内訳 (卒業年度データ比較)



称号別の人数 (件) 数

称号	個人	法人団体
特別栄誉会員 (1億円以上のご寄附)	25	54
栄誉会員 (1,000万円以上のご寄附)	75	188
特別貢献会員 (500万円以上のご寄附)	44	58
功労貢献会員 (100万円以上のご寄附)	517	144
貢献会員 (30万円以上のご寄附)	2,768	175
賛助会員 (10万円以上のご寄附)	3,105	112



東京大学基金銘板 (貢献会員以上)

東京大学基金へのご支援のお願い

皆様の東京大学基金への更なるご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

- ご寄附のお申込み
- ① 書面によるお申込み: 指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください。各プロジェクトへの指定寄附も可能です。
 - ② WEBサイト (<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>) によるお申込み: 東京大学基金WEBサイトからもお申し込みいただけます。(クレジットカード・ペイジー・ネットバンキング可)

東京大学基金事務局

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 Tel:03-5841-1217 FAX:03-5841-1219 E-mail:kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp URL: <http://utf.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学ビジョン2020 と 東京大学基金

東京大学ビジョン2020とは

2015年10月に公表された「東京大学ビジョン2020」は、2020年度に至る五神総長の任期中における行動指針です。「卓越性と多様性の相互連環」を掲げた「基本理念」に加えて、研究・教育・社会連携・運営の4つの「ビジョン」、及びそれを実現するための「アクション」で構成されています。

ビジョン1 [研究] – 新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開

- **国際的に卓越した研究拠点の拡充・創設** カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)、サステナビリティ学連携研究機構、総括プロジェクト機構 (「航空イノベーション」「太陽光を機軸とした持続可能グローバルシステム」「プラチナ社会」「革新分子技術」総括寄付講座等)、ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム、大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA) プロジェクト、秩父演習林プロジェクト
- **人文社会科学分野のさらなる活性化** 経済学研究科 (金融機関のリスクマネジメント、流通を科学する (ニトリ))、総合文化研究科 (スルタン・カブス・グローバル中東研究)、情報学環 (角川文化振興財団メディア・コンテンツ研究寄付講座)、公共政策学連携研究部・教育部 (資本市場と公共政策)、附属図書館 (アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門)
- **学術の多様性を支える基盤の強化** 新図書館計画「アカデミック・コモンズ」、情報学環 (DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座)、法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター (明治新聞雑誌文庫)、史料編纂所基金

ビジョン3 [社会連携] – 21世紀の地球社会における公共性の構築

- **学術成果の社会への還元** トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR機構)、高齢社会総合研究機構、農学生命科学研究科 (植物医科学)、情報学環 (総合癌研究国際戦略推進寄付講座)
- **産学官民協働拠点の形成** 産学官民連携型農学生命科学研究インキュベータ機構 (アグリコクーン)、工学系研究科技術経営戦略学専攻、総合研究博物館 (大植文化ハウス)、大気海洋研究所 (沿岸センター活動支援プロジェクト)、東日本大震災救援復興支援プロジェクト
- **教育機能の社会への展開** 東大EMP基金

「東京大学ビジョン2020」の項目に対応する主なご寄附目的の例をご紹介します。

東京大学は、この「東京大学ビジョン2020」に基づいて、21世紀の人類社会に貢献する「知の協創の世界拠点」としての使命を担うべく、全学の総力を結集して力強く改革を進めます。

ビジョン2 [教育] –基礎力の涵養と「知のプロフェッショナル」の育成

- **国際感覚を鍛える教育の充実** 長島雅則奨学基金、ゼンショー 東京大学・南京リベラルアーツ・学生交流プログラム、グローバルリーダー育成プログラム、東大生海外体験プロジェクト、PEAK奨学金制度（総合文化研究科・教養学部基金）、アジア環境リーダー育成プログラム、Go Global奨学基金（東京大学在学学生留学支援・海外派遣事業）、プリンストン大学との戦略的提携基金、Fung Scholarship、リーダー博士人材育成基金、真空イノベーション基金、光イノベーション基金
- **国際卓越大学院の創設** 博士課程教育リーディングプログラム
- **学生の多様性拡大** 東京大学アサツー デイ・ケイ中国育英基金、大和証券グループアジア留学生奨学基金、DMG森精機・東大IIT奨学基金、イオン・スカラシップ、（長島雅則奨学基金*）、古賀信介奨学基金（東京大学フェローシップ）、外国人留学生支援基金、さつき会奨学金基金、修学支援事業基金
- **東京大学独自の教育システムの世界発信** （ゼンショー 東京大学・ベトナム国家大学ハノイ校日本研究拠点プログラム*）
- **学生の主体的活動の支援** 東大スポーツ振興基金

ビジョン4 [運営] –複合的な「場」の充実と活性化

- **基盤的な教育・研究経費の確保** 理学系研究科・理学部基金、農学140基金、数理科学研究科基金、医科学研究所創立125周年／改組50周年記念事業「IMSUT One to Gogo基金」、東大病院メディカルタウン基金、マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト、「東京大学の森」育成資金、宇宙線研究所若手支援基金、公共政策大学院基金
- **卒業生・支援者ネットワークの充実** 東京大学校友会 活動支援プロジェクト
- **世界最高の教育研究を支える環境の整備** 情報学環・福武ホール、保健体育寮（スポーティア）・山中寮内藤セミナーハウス、農学生命科学研究科・フードサイエンス棟、21 Komaba Center for Educational Excellence（21 KOMCEE）、伊藤国際学術研究センター、先端科学技術研究センター・環境エネルギー研究棟、Life in Greenプロジェクト（小石川&日光植物園）、安田講堂改修プロジェクト、UTokyo女性活躍支援基金

注：※は複数に該当する事例

2016年度 主なプロジェクトの成果

■ 新図書館計画「アカデミック・コモンズ」

東京大学附属図書館は、2012年10月から新図書館計画「アカデミック・コモンズ」へのご支援をお願いし、おかげさまで、法人、団体、個人の方々から9億円以上のご寄附のお申込を賜っております。しかし、目標の40億円に向けては、皆様方からさらなるご理解とご協力をいただく必要がございます。

そこで、2016年12月より、従来のご支援の願いとともに、総合図書館3階の大閲覧室に設置される「大机」または「書架」にご芳名を掲げ、顕彰するというキャンペーンを実施しております。

総合図書館の大閲覧室は、1928年創建当時の姿を保持する改修工事を計画し、歴史ある空間を未来に向けて受け継いでいくことになっております。このキャンペーンは、この伝統ある大閲覧室に設置され90年のあいだ東京大学の学びを支えてきた閲覧用の「大机」の修復再生と、これからの研究・学習の糧となる学術資料を収納するための「書架」を新設するものです。それぞれに銘板を設置してご協力者のお名前を記し、末永く感謝の気持ちを伝えてまいります。

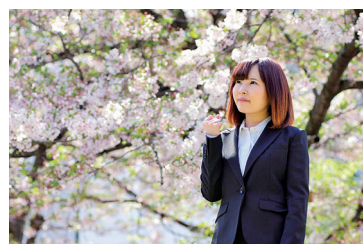


総合図書館3階大閲覧室

■ 修学支援事業基金

平成28（2016）年度の税制改正により、国立大学法人等が実施する修学支援事業に対する個人の方々からのご寄附については、これまでの所得控除に加え税額控除の適用対象となり、これを受けて東京大学基金では「修学支援事業基金」を設置いたしました。この「修学支援事業基金」及び「さつき会奨学金基金」（本学の修学支援事業として位置づけられています）を寄附目的としたご寄附については、確定申告の際、所得控除または税額控除、いずれか有利な方式を選択いただけるようになりました。

皆様からのご支援は、経済的な理由で修学に困難がある学生に対する支援のための事業に充てられるものであり、①入学料、授業料または寄宿料の全部又は一部を免除する事業、②学資金を貸与し又は給付する事業、③学生の海外への留学に係る費用を負担する事業、④ティーチング・アシスタント及びリサーチ・アシスタントの業務に対する手当等を負担する事業が対象となります。経済的な困難がありつつも意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう、温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



■ さつき会奨学金基金

東京大学女子卒業生同窓会の「さつき会」は2011年に発足50周年を迎えました。東京大学に初めて女性が入学したのは1946年のこと。それから約70年が経過しても、なお女子学生比率が20%に満たない状況が続いております。そこで、特に経済的負担が多いと推測される地方出身の女子学生の東大受験を促し、入学後の経済的・精神的なサポートを行うことで、次世代を担う女性をより多く輩出することを目的とした「さつき会奨学金」制度が、平成25（2013）年度からスタートしました。

これまでの皆様のご支援により、おかげさまで累計寄附金額は2億円に近づいております。そのため、受験前に内定する従来の「受験生向け」に加えて、新たに平成28（2016）年度より、学部1年次に在学中の学生を対象とした「在学生向け」の募集も行っております。

一人でも多くの優秀な女子学生に学びの機会を提供できるよう、引き続き温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



2016年5月25日、奨学金受給者証書授与式が開催されました。

2016年度 活動報告会・特別セミナー等

4月4日 小石川植物園お花見特別開放2016 (功勞貢献会員・貢献会員・賛助会員対象)

東京大学基金の春の恒例行事「小石川植物園 お花見特別開放」を、4月4日(月)の植物園休園日に特別開放して開催いたしました。朝方からの雨も昼過ぎには上がり、時折暖かい日差しも降り注ぐなか、600名を超える寄附者、そのご家族やご友人にご参加いただきました。

2009年末に立ち上げました「Life in Green Project」では、多くの方々のご支援をいただき、おかげさまで累計寄附金額が5億円に近づいてまいりました。小石川植物園の公開温室の建て替えは、2018年完成を悲願として全力で進めております。改修に向けて、なお一層のご支援をお願いいたします。



6月24日 東京大学基金 感謝の集い (前年度「貢献会員」以上になられた寄附者対象)

第10回目「東京大学基金 感謝の集い」を安田講堂および山上会館で開催いたしました。全国各地、また今年は台湾からの寄附者も含めて60名以上の方々にご来場いただきました。第一部「感謝の集い」では前年度の東京大学基金活動のご報告と石井理事・副学長の講演会、そして第二部「総長主催懇談会」が開催され、あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。

会の途中では、運動会応援部の演舞も披露され、「ただ一つ」を寄附者と学内関係者が一緒に歌って大変盛り上がりました。



7月23日 大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA) プロジェクト銘板・施設見学会

大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA) プロジェクトへご支援いただいた方に感謝の気持ちを込め、岐阜県飛騨市の東京大学宇宙線研究所・重力波観測研究施設において、「大型低温重力波望遠鏡 (KAGRA) プロジェクト銘板・施設見学会」を開催いたしました。この見学会では、2016年春までにKAGRAプロジェクトの銘板対象となる金額以上をご支援いただいた方をご招待し、同伴者も含めて約80名の方にご参加いただきました。当日は、普段は入ることができないKAGRA施設内で、地表から200メートル以深にある実験室、一辺3キロメートルのL字の形をした重力波望遠鏡などをご見学いただき、壮大な研究の現場を肌で実感いただける貴重な機会となりました。



10月15日 相続・遺言セミナー (東京大学基金寄附者・卒業生等対象)

ホームカミングデーで卒業生や地域の人で賑わう本郷キャンパスにて、会計人東大会のご協力のもと、5回目の「相続・遺言セミナー」を開催いたしました。午前の特別セミナーでは、鴛海量明先生による講演「気になる相続や遺言のこと ～どうする相続税? どうなる遺言?」を約50名の方が熱心に受講されました。詳しい資料付きの分かりやすい講義で、理解を深めることができた大変好評でした。また、午後には、4名の公認会計士、税理士、弁護士の先生方による個別相談会が行われました。



東京大学基金では、ご寄附いただいた方に感謝の気持ちを込めて、こうしたセミナー等を開催しております。ご希望などございましたら、東京大学基金事務局までお寄せ下さい。